

療養環境を提供致します。
私たちは、良質で安全な医療と

オアシス OASIS

2024年 春号

愛友会 上尾中央第二病院 季刊誌 ●URL <https://www.ach2.jp/> ●TEL: 048-781-1101

はじめまして

内科 吉田 和浩



2023年6月から上尾中央第二病院のスタッフの一員として勤務しております、吉田和浩と申します。出身は北海道、札幌市です。大学病院での修行時代は呼吸器内科が専門の医局で働いていました。大学病院を離れた後は、広く内科全般をカバーする地域の病院に勤務し、慢性期である療養病棟の医療を経験してきました。それまでほとんど専門領域しか診療してこなかったため、改めて内科全般という領域の広さに途方に暮れたことを記憶しています。

故あって2017年から埼玉県に移りました。こちらでも慢性期の病院で働いていましたが、人工呼吸器装着や透析の患者様が入院されており、さらに点滴栄養の患者様の多さに驚きました。慢性期医療といっても当地ではうかうかしていられないと、改めてネジを巻きなおして仕事に当たらなければと感じさせられました。

当院では回復期リハビリ病棟と医療療養病棟、障害者病棟を担当させていただいております。回復期リハビリ病棟を担当するのは

初めてですが、患者様が日常生活機能を回復し退院されていくのが楽しみです。慢性期の病棟ではあまり入退院は多くないので、喜んで退院されるお顔を拜見できるのはうれしいものです。慢性期の病棟では基本的には長期入院となるため、患者様のみならずご家族様も含めて安心して入院生活が送れるような医療ができ、皆様にとって貴重な時間を穏やかに過ごしていただくお手伝いのできたら、と思っています。

当院で仕事を始めてからはほぼ1年が経過しました。年齢的に、とは言いたくないのですが新しいシステムへの適応が遅く、いまだに右往左往することが多くあります。スタッフの皆さんは優秀な方が多く、うかうかするとあという間に置いて行かれそうなので、脳トレで錆び付きそうな脳を鍛えながら頑張っていますが、効果があるんだかないんだかよくわかりません。

皆様のお役に立てるよう、お会いできたご縁を大切にしながら引き続き精進して参ります。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

Information

当院のご案内



当院は、上尾市南部に位置し、周囲に田畑も残る静かな環境にあり、緩和ケア病棟(ホスピス)、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、障害者病棟からなる病院です。主に亜急性期、慢性期の患者様への医療環境を提供しております。2014年には透析棟を開設し、外来、入院患者様の人工透析にも対応できる体制を整備しております。

現在、予約制で対面での面会を実施しております。また回復期リハビリテーション病棟と緩和ケア病棟では、予約の上で20時まで面会をすることも可能です。緩和ケア



病棟ではペット面会も行っております。各病棟では趣向を凝らしたレクリエーションを実施したり、栄養科からは季節のイベント毎に献立を用意したりと、良質で安全な医療と療養環境を提供できるよう努めております。



上尾市健康診断のご案内

5月より上尾市の特定健診・後期高齢者健診・人間ドック・各種個別検診を予約制にて開始いたします。お手元に受診券が届きましたら、お早目のご予約をお勧めいたします。

受付時間	月	火	水	木	金
人間ドック	①8:40 ②9:00	○	○	○	○
各種健(検)診	9:00～11:30	○	○	○	○
	13:00～16:30	○	○	○	○

健(検)診名	実施期間
上尾市特定健診 上尾市後期高齢者健診	令和6年5月1日～10月31日
国保人間ドック 後期高齢者人間ドック	令和6年5月1日 ～令和7年2月28日
大腸がん検診 肺がん検診 前立腺がん検診 肝炎ウイルス検診 骨粗しょう症健診 20～30歳代ヘルスチェック 一般健康診査	令和6年5月1日～11月29日

各種オプション検査がございます。詳しくはお問合せ下さい
お問合せ・ご予約先：048-781-1902
(月～金曜日 9:00～17:00)

編集後記

2024年1～2月は、関東地方は概ね暖冬ではありましたが、寒暖の差が大きい日が多く、服装や体調管理に困る日々だったように思います。また、1月の能登半島沖地震から始まり、飛行機事故や紛争など年明けから印象深い出来事が多く、心を痛めている方々も多いかと思います。新たな春を迎え、ハッピーな話題をより多くの患者様にお伝えできるよう願ひながら、日々リハビリテーションに勤しんでおります。

広報委員 リハビリテーション科
岡本 勇貴





過去の連載からもメタボは動脈硬化を促進させてしまうことがお分かりいただけると思います。メタボは脳の血管も固くしてしまい、脳卒中のリスクを高めてしまいます。脳卒中とは脳の血管が詰まる【脳梗塞】、破れる【脳出血】【くも膜下出血】の総称です。

脳卒中の
典型的な5大症状

片方の手足・顔半分の
麻痺やしびれ

力があるのに
立てない、歩けない、
フラフラする

経験したことのない激しい
頭痛

片方の目が見えない
物が二つに見える
視野が欠ける

呂律が回らない
言葉がでない
人の言うことが理解できない



2021年の厚生労働省の人口動態統計によれば、脳卒中は日本人の死因の**第4位**です。また、寝たきりとなる原因の**第1位**の病気です。寝たきりにならないためには、脳卒中にならないこと、予防することがとても重要と言えます。脳卒中は、誰にでも(特に高齢者には)起こる可能性がある病気です。脳卒中にならないように、生活習慣病の原因のひとつであるメタボを改善しましょう!

当院ではメタボリックシンドロームの改善を目的とした**特定保健指導を実施**しております。興味のある方は是非ご連絡ください。

参考 国立循環器病センターHP「脳卒中」、厚生労働省e-ヘルスネット



— お問い合わせ —
048-781-1101
月～金 9:00～17:00
保健師 尾崎・込山・米澤

4階病棟レクリエーション

新型コロナウイルスが5類になり、コロナ禍前の日常に戻ってきました。病院でも、以前行っていたみんなで集まるレクリエーションが少しずつですが、行えるようになってきました。12月のレクリエーションでは、スタッフがサンタクロースに変身して、患者様一人一人にプレゼントを配り、記念写真を撮りメッセージカードにして、お渡ししました。日々の療養生活が少しでも楽しい思い出になれるよう、スタッフ一同協力いたします。



看護学生の実習受け入れを行っています

3階病棟に入院中の患者様の多くは、後期高齢者で寝たきりの状態であり、生活全般に援助が必要な方々です。急性期での治療を終え状態は安定しましたが、継続した医療処置が必要で在宅や施設では療養困難な場合もあります。

現在当病棟では、看護学生の実習受け入れを行っています。実習指導者講習会を終了したスタッフ3名が実習指導に携わっています。患者様は複合的な疾患を持っており、様々な病態の学習をしますが、学生が理解できない病態を一つずつ理解できるよう指導を行っています。また、身体・精神・社会的側面からの問題点を共に考えて、看護計画の立案に繋がられるよう方向性の確認をします。時代の流れと共に核家族が増え、祖父母との生活経験が少ない学生が増えている中、学生がコミュニケーションで不安に思わないよう、声掛けを行い、患者様と学生の橋渡しの役割を担うこともあります。

学習面だけではなく、患者様が看護師の援助を受け最良の状態ですべて安全・安楽な療養生活を送れるように、技術の援助も共に行います。

「百聞は一見に如かず」という言葉があるように、学びを実践に活かし有意義な実習となるような関わりを心掛けています。



透析するなら上尾中央第二病院へ!!

外来透析のほかに、リハビリをして在宅復帰を目指す患者様や、長期療養入院が必要な患者様の入院透析も受け入れを行っております。無料送迎サービスをご利用いただけます。送迎範囲はご相談下さい。



最新の医療機器と透析治療法を導入し、通常の血液透析では取り除くことが困難な老廃物質を取り除く、「オンラインHDF」や「LDL吸着」、「β2ミクログロブリン吸着」も行っています。

長時間の透析治療をリラックスして行えるように全てのベッドに、寝たままご覧いただけるテレビもご用意。食事面で不安のある方は栄養士による指導も行っております。透析中のリハビリを行いたい方は、ご相談下さい。スタッフ一同患者様ひとりひとりにあった透析治療に努めております。

透析棟 ベッド数 22床 (月・水・金:午前、午後) (火・木・土:午前のみ)